

テーマ：

# 新聞記者として 沖縄に関わる中で考えたこと

講師： つかざき 塚崎 しょうへい 昇平氏  
【琉球新報記者】

日時：6月26日(水) 13:30～15:00

場所：関西学院大学・神戸三田キャンパス  
II号館 201教室

主催：総合政策学部研究会・総合政策研究科リサーチ・コンソーシアム

【※メディア・リテラシー(担当：山中)の振替授業とします】

## 講師紹介

### 【略歴】

- 2010年 3月 大分県立中津南高等学校普通科卒業
- 2010年 4月 琉球大学法文学部総合社会システム学科政治・国際関係専攻入学
- 2014年 3月 同専攻卒業
- 2014年 4月 琉球大学大学院人文社会科学研究所総合社会システム専攻政策科学研究領域入学
- 2016年 3月 同領域修了
- 2016年 4月 琉球新報社入社。本社編集局文化部教育班に配属。県教育委員会を担当。
- 2018年 4月 同社北部支社報道部に配属。本部町・今帰仁村・伊江村を担当。
- 2019年 4月 同報道部で名護市を担当。現在に至る。

### 【取材経歴】

- 教育班時代：教育行政全般（学力テスト問題、文化財関係、教員の労働環境など）。教科書問題（「集団自決」歴史教科書問題など）。文科系部活動など。
- 北部報道部時代：伊江村の着陸帯建設問題、辺野古への資材搬出に伴う本部港使用問題。2019年2月の県民投票関連取材。名護市行政、辺野古区取材など。

### 【寄稿】

「磁気テープ：元『ネトウヨ』記者」『新聞協会報』日本新聞協会、2018年4月17日付。